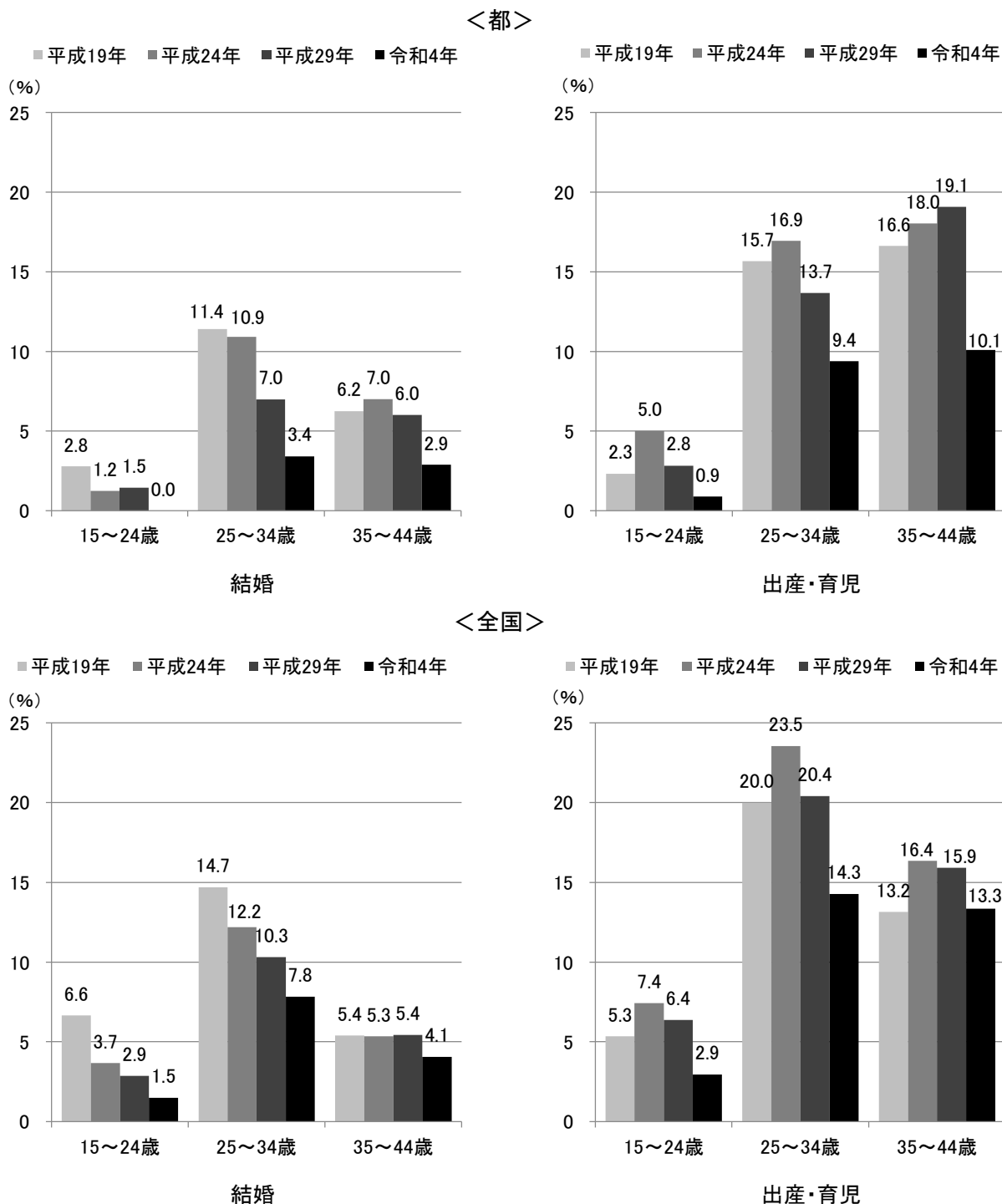


1-6 育児や介護等を理由とする離職者に対する再就職支援

1. 結婚又は出産・育児を理由に離職した若年女性の割合

令和4（2022）年就業構造基本調査によると、25～34歳で離職した女性のうち、結婚又は出産・育児を理由に離職した人の割合は都で計12.8%、全国で22.1%である。また、35～44歳では都13.0%、全国17.4%である。

図表 1-6-1 結婚又は出産・育児を理由に離職した若年女性の割合（都・全国）



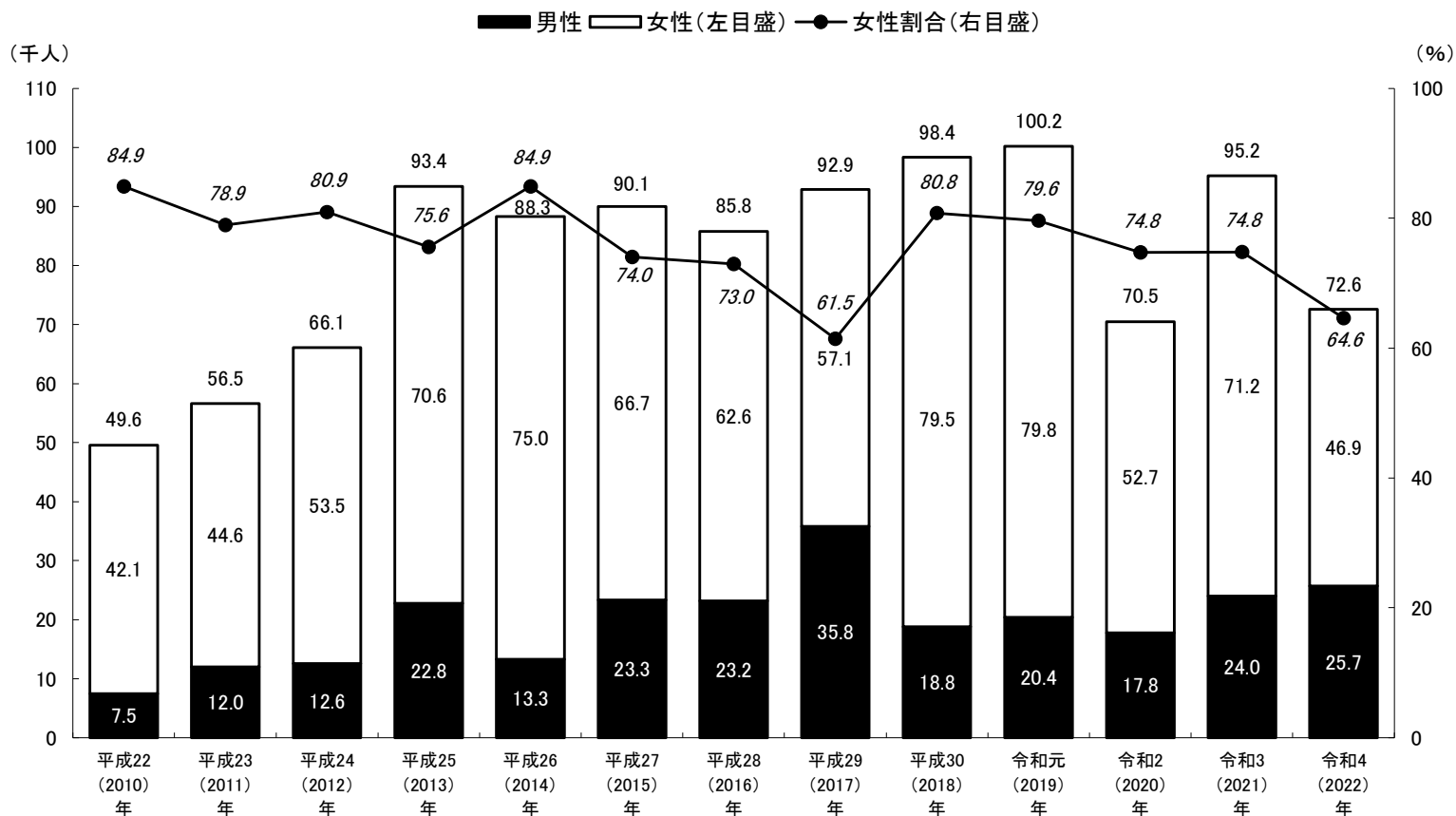
資料：総務省「令和4年就業構造基本調査」

2. 介護を理由とする離職者と女性の割合

介護を理由とする離職者数は、平成25（2013）年以降は9万人前後で推移していた。令和2（2020）年で一度急落したが、令和3（2021）年では9万5千人に増加し、令和4（2022）年は7万2千人と再び急落した。

介護を理由とする離職者の女性割合は平成19（2007）年までは90%前後で推移していたが、年々減少傾向にあり、令和4（2022）年は64.6%となっている。

図表 1-6-2 介護を理由とする離職者と女性割合の推移（全国）



資料：厚生労働省「雇用動向調査」（令和4年）